

No.	11	No Image
学区	該当学区なし	
主な相手先	大津の町家を考える会	
日時	2019年8月21日（水曜）	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町家でやっている活動と言うと、特にはない。地蔵盆、お祭などはやっている ・ 国登録有形文化財になっている町家が多くあるが、ほとんどが自由に観覧できる状態ではない ・ 最近、町家を活用してホテルが営まれているが、営業されているので、簡単に入って中を見られるというものではない ・ 大津百町館は自由に観覧できる施設としているが、国登録有形文化財になっていない ・ 福岡市では、市がお金を出して、博多どんたくに関する施設を運営している ・ 東海道シンポジウムで他の宿場を見に行ったことがあるが、情報発信の拠点となる施設が存在している。大津市にはそれがない ・ 東海道沿道にあり、かつ、国登録有形文化財である建造物が、そのような情報発信の拠点となる施設であればよいのと思う ・ 大津百町館の道路面を修景してはどうかと考えている。格子、漆喰壁にするなど昔の姿に戻してはどうかと考えている ・ 大津百町館は明治32年の建築。建設当時の設計図や棟書きが残っている ・ 大津事件の資料を預かっている方がいる。大津事件に関する史料館を作ってそれらの資料を引き継がないといけない ・ 中町通り沿いの古く趣のある町家は多くがつぶされてしまった ・ 北国海道沿いで現在拡幅されている道沿いもかつては町家が並んでいたが、今は新しい家ができてしまって、雰囲気はなくなってしまった ・ 都市計画道路3・4・9号線ができたことで、道路沿いの町家がなくなってしまった。逆に今、町家オフィスとなっている建物は道路沿いに出てきたということにはなったが ・ 大津駅西口の区画整理事業区域も昔は町家が多く雰囲気があったが、区画整理で新しい家ばかりになってしまった ・ 今も町家を残している方は、私財を投じて守られている。町家を維持、保存していくのは非常に大変 ・ 大津の町家を考える会では、町家についての地図を作るなどソフトの活動を行っ 	

てきた

- ・ 2004年度に大津市が作った大津百町の復元模型が大津百町館に置いてある。昔は、市役所にあったが、置く場所がないからと今はここにある。今はあまり人目に触れていない
- ・ 大津城、膳所城の模型があるが、展示されている場所が悪い。大津城の模型はスカイプラザ浜大津、膳所城は生涯学習センターにあるが、もっと目立つところに置けないか
- ・ 枚方市は、辻、辻での特徴的な建物の復元、道路のカラー舗装、説明案内板を設置されたりしていた。大津市でもそのようなことをするべき。「ここが東海道だったのか」とわかるようにしていただきたい
- ・ 町のなかに、大津事件や米会所の説明書きがあるが、あれは市でやっているものではないと聞いたが、ああいうものをもう少ししてほしい
- ・ 東海道の一部が美装化されたが、今後どうするのか。他の市だとそれほど長い距離ではないので力を入れてということなるかと思うが、大津市のように長いと簡単にはできないのではないか
- ・ 膳所学区は東海道に関する活動を熱心にされている。町歩きの企画、旧町名に関する連載など。膳所学区でも意見聴取はしているのか
- ・ 大津百町周辺でも旧町名で通りを呼ぼうという動きをしているところもある
- ・ 南北に長い大津市で、重点区域を決めるというのは非常に難しいと思う
- ・ 市内の大きな祭りを核として区域を考えてはどうか。大津の三大祭など地元の人たちも熱心に取り組んでおられ、地域のまとまりもあるので、区域としやすいのではないか
- ・ 大津百町もどこを中心にするか難しい。東海道を中心とするか、浜通りを中心とするか
- ・ 大津の特徴ある食事文化と言っても特に思いつかないのだが、滋賀の食事文化研究会の方に聞いてみてはどうか